

## 利尻島におけるサンショウクイの観察記録

風間健太郎<sup>1)</sup>・小杉和樹<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 〒 041-8611 北海道函館市港町 3-1-1 北海道大学水産科学院

<sup>2)</sup> 〒 097-0401 北海道利尻郡利尻町杓形字富士見町

### Observation Records of Ashy Minivet *Pericrocotus divaricatus* at Rishiri Island

Kentaro KAZAMA<sup>1)</sup> and Kazuki KOSUGI<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> Hokkaido University, 3-1-1, Minato-cho, Hakodate, Hokkaido, 041-8611 Japan

<sup>2)</sup> Fujimi-cho, Kutugata, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0401 Japan

**Abstract.** Ashy Minivet *Pericrocotus divaricatus* was observed at Rishiri Island on 17, May, 1987 and 8, May, 2006.

筆者らによって1987年と2006年に観察されたサンショウクイ *Pericrocotus divaricatus* について報告する。記録は、観察場所、観察年月日、観察者、個体数、雌雄の順に示した。

利尻町森林公園, 1987.v.17, 小杉和樹, 1, 雌雄不明, 利尻町森林公園, 2006.v.8, 風間健太郎, 2, ♂

1987年5月17日に小杉が利尻町森林公園管理道脇のトドマツの枝で1羽を観察した。これが本種の利尻島での初記録である。撮影はされず雌雄は不明であった。以後しばらく本島で本種の観察記録はなかったが、2006年5月8日13:30頃に利尻町森林公園中央部「夏の森」で風間が発見し、写真を撮影した(Fig. 1)。額が白く、頭頂から後頸と過眼線が黒いことから雄成鳥(高野伸二, 1995)と判断された。林縁のトドマツから飛び立ち、舗装道



Fig. 1. Ashy Minivet *Pericrocotus divaricatus* observed firstly on 8, May, 2006. Fig. 2. Ashy Minivet *Pericrocotus divaricatus* observed secondly on 8, May, 2006.

路の約 10m 上空で捕虫後に再び飛び立った場所に戻った。人を恐れず、観察者の 10m 以内に接近してきた。捕虫を 5 分ほど同じ場所で、2-3 度くり返した後、道路沿いの林縁に沿って北方向「池の森」へ向かって移動した。さらに同日 15:00 頃、同公園東部「小鳥の森」で雄成鳥 1 羽を観察した (Fig. 2)。この個体も林縁のトドマツ上で捕虫をくり返した。同日に観察された 2 羽が同じ個体かどうかは不明であるが、観察場所が離れていたため本報告では別個体として扱った。

#### 参考文献

高野伸二, 1995. フィールドガイド日本の野鳥・増補版. 日本野鳥の会. 343 pp.